





なんとか入ったね。  
ミカサ

う、うん

ズンッ

ズンッ



















対人格闘術で  
見とれていた  
女の尻を……

しかもアニの

ふさッ

ち、違う

あれはミカサとどっちが  
大きいか想像してただけで



エレン……



イイツツ!?

あなたの選択は  
正しかった

ズッ



















はあ

はあ

はあ

ガキッ

でもいいのか？  
こんな試す真似して

エレンは他の娘と  
こんなこと……  
できないでしょ？

オセないケド

もういいから  
早くっ…邪魔が入る

うっ…

うっ

おっ

おっ

はあ

はあ

はあ

おっ  
おっ  
おっ



は

す

は

なんだこれっ  
くはあう…あ…くう……

こ、これが  
おじさんたちの言ってた『女』  
はあ…お、女を抱くってことかっ

は

は

嬉しい…  
ああ…エレン

エレンの感じる…

熱い…

どうしたの？

もっと動いていいよ

私をエレンの…女に  
独り占めして…

きゅ  
きゅ

あ

あ

あ

あ

う、動けない…んだ  
も…もお…おあッ!?

ああッ

はぁッ  
はぁッ

エレン…

これでもうエレンの言う  
『家族』じゃないよ…私達

ゴッゴッゴッ

カウッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ミカサ

おまえ……







ふふう、ミカサちゃんの穴はいつも気持ちいい  
ねええ…、食料在庫ごまかす苦勞もふっとぶ  
よおおお、干肉2枚だから申出しいよね？

…さっさと終わらせ  
なさい、エレンが  
待ってる…。





